

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	朝鮮語圏の文化 (Culture in the Korean-speaking sphere)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	映画を通じて知る朝鮮半島		
担当者名 (Instructor)	石坂 浩一 (ISHIZAKA KOICHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標 (Course Objectives)

映画を通じて韓国の歴史、社会、文化について、広く知ること目標とする。日本でしばしばみられる偏見や俗説をただし、冷戦と分断の中で民主主義と個人の尊重を希求する韓国市民社会のめざすものを理解する。

The goal is for students to gain a broad understanding of Korean history, society and culture through movies. We will correct the prejudices and vulgarities often found in Japan, and understand the aims of Korean civil society that seeks democracy and respect for individuals in the Cold War and division.

#### 授業の内容 (Course Contents)

韓国映画を素材として、韓国文化をさまざまな視点から紹介する。歴史を描いた時代劇から現代的なラブストーリーまで、広く取り上げてみたい。また、南北分断による権威主義政治の映画や文化に対する影響、韓国の文化の国際性についても考えていきたい。授業の中ではいろいろな作品を紹介するが、時間的に部分的紹介にとどまる。ただし、短編映画については全体を視聴し、ミニレポートの素材とする。

We will introduce Korean culture from various viewpoints using Korean movies as materials. I want to take up a broad range of themes from historical dramas to contemporary love stories. Also, I would like students to think about the influence of authoritarian politics on movies and culture due to the division of the North and South, and the international nature of Korean culture. I will introduce various works in the class, but only a partial introduction in terms of time. However, for short films, the entire movie will be viewed and used as the material for the mini-report.

#### 授業計画 (Course Schedule)

1. 韓国映画 日本とのちがいがい
2. 韓国映画、近年のヒット作の傾向と意味
3. 韓国社会を反映する映画
4. 冷戦克服をめざす韓国映画
5. 韓国映画を支える独立映画
6. 韓国歴史映画の面白さ
7. 韓国ラブストーリーの変遷
8. 韓国映画と日韓映画協力
9. 韓国映画のグローバル展開と国際性
10. 映画で見る植民地期の朝鮮社会
11. 解放後の韓国映画と表現の自由の制約
12. 民主化の進展と韓国映画の第2の高揚
13. 韓国映画の中のマイノリティ
14. まとめ 朝鮮半島についてより広く知っていくために

#### 授業時間外 (予習・復習等) の学習 (Study Required Outside of Class)

自分で韓国の文化や社会、歴史について基本的な事柄を文献を通じて学んでおくのが望ましい。

#### 成績評価方法・基準 (Evaluation)

レポート試験 (Report Exam) (60%) / ミニレポート 2回 (40%)

#### テキスト (Textbooks)

授業時にプリントを配布する。

#### 参考文献 (Readings)

1. 石坂浩一・福島みのり編、2014、『現代韓国を知るための60章』、明石書店 (ISBN:9784750340821)
2. 趙景達、2013、『植民地朝鮮と日本』、岩波書店 (ISBN:9784004314639)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

パワーポイントを使用した授業形式で映像資料を多数活用する。  
特に朝鮮語選択者の受講を期待する。

注意事項(Notice)